



# すずかけ

第14号

令和7年  
8月26日 発行

## 学校教育目標

夢をもち、心豊かで、たくましく生きる子どもの育成  
～ゆたかな子・かしこい子・たくましい子～



## 前学期後半スタート / 夏休み明けスピーチ集会

37日間の夏休みが終わり、昨日から前学期後半の学校生活が始まりました。  
休み明け初日の8月25日(月)は、恒例の「夏休み明けスピーチ集会」が行われました。なかよしグループ(全校縦割班)で夏休みの思い出を紹介し合うとともに、いろいろな人と「かかわる力」を身に付けるために、「アドジャン」を行いました。

「アドジャン」とは・・・

人間関係づくりプログラム、ソーシャル・スキル・トレーニング(SST)、構成的グループエンカウンター(SGE)などの一環として行われているグループ・トーク活動です。

ルールはシンプルです。「アドジャン!」と言いながらジャンケンの要領で「グー」または指1本から指5本までのいずれかを出します。出された指の合計数にしたがって指定されたお題の質問に答えながら会話をします。今回のスピーチ集会では、以下のお題を使用しました。

数	お題	数	お題
1	夏休み中楽しかったこと	6	夏休みに読んだ本やマンガ
2	夏休みに行った、行きたかった所	7	夏休みに会った人、会いたかった人
3	心に残ったテレビ番組や映画など	8	夏休みに大変だったこと、つらかったこと
4	この夏、よく食べたもの	9	夏休み明けに楽しみにしていること
5	この夏休みを「色」で例えると	0	この夏に自分が成長したと思うこと



せーの、  
アード  
ジャン!

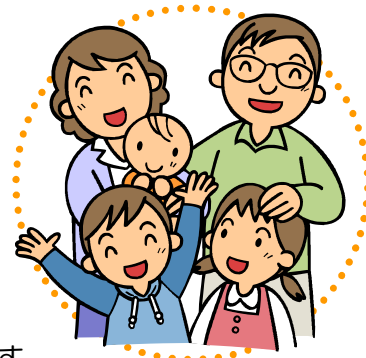


家族で  
山形県の鶴岡市に  
行きました・・・



「鬼滅の刃」を  
全巻、  
読み直しました。

# 夏休み明けは 気持ちの変化が起きやすい?



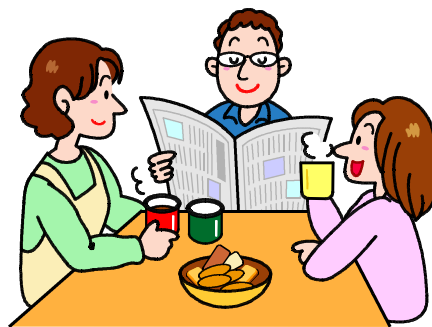
## ～親がサポートできること～

夏休み明けは、子どもの気持ちの変化が起こりやすい時期です。休み中にのんびりしすぎて活動量が低下した影響から体調がすぐれなかったり、友達との関係や行動範囲が変わったりなど、さまざまな理由から子どもの気持ちに変化が生じることがあります。

### ここで、夏休み明けのお子さんの様子をチェックしてみましょう

以下に挙げる項目の中で、最近のお子さんの様子について当てはまるものにチェックを付けてください。

- 夜、寝る時間が遅くなっている。
- 朝、自分から起きてこない。
- 朝ごはんをなかなか食べようとしない。
- おやつや甘いジュースばかりをほしがる。
- 体を動かそうとしない。
- ゲームで遊ぶ時間が大幅に増えている。
- ちょっとしたことでもかんしゃくを起こしやすい。
- ぐずぐずしたり、すぐに泣いたりするようになった。
- 以前に比べてベタベタ甘えてくるようになった。
- 学校の話をするとう表情がくもる。



いかがですか。チェックの数が複数ある場合、お子さんは、学校が再開したことに対し、何かしら不安な気持ちを抱いているかもしれません。

夏休み明けは、家庭のサポートがとても大切な意味をもつ時期です。厚生労働省の調査によると、近年、夏休み明けに学校に行くのを嫌がる子どもが増加傾向にあることが明らかになっています。

夏休み明けの一週間、どうぞお子さんの様子をいつも以上に注意深く見守ってください。その上で、「ちょっと元気がないな」「笑顔が少ないな」などと感じたら、「どうしたの？ 何か困っていることはない？」

と、お子さんの心に寄り添って話を聞いてあげてください。

答えない場合は無理に聞き出そうとせず、「何かあったらお母さん（お父さん）に話してね」と声をかけます。「私はいつでもあなたの味方だよ」というメッセージを送ることがとても大切で、それがお子さんにとって、何よりの安心材料となります。

〈参考資料〉リーフラススポーツスクールホームページ

<https://sport-school.com/largeha/>